

中国を見て・感じて・探る…大連事務所発のレポート

人民日報のネットニュース日本語版より

「中国人の日本観光、復活なるか？」各界が注目

3月11日に発生した東日本大震災の影響で、一時は激減した中日両国の相互訪問が回復の兆しを見せ始めている。中国の温家宝総理は、先日の訪日中に、「中国政府は、中国人旅行者による日本向け観光ツアーが一日も早く復活・拡大するよう努める」と述べた。震災から2カ月あまりが経過した今月20日、中国大陸部から東京など関東地方を訪れる震災後初のツアー団が、遼寧省瀋陽市でツアー出発式を行った。同日午後、日本観光庁の溝畑宏長官が自ら成田空港で一行を出迎え、盛大で厳かな歓迎式典を催した。空港で挨拶した溝畑長官は、「東京は安全で美しいです！」とアピールした。日本側のこのような懸命の誘致活動によって、中国人観光客が日本に戻って来るかどうかについて、世間の注目が集まっている。

(以下略)

日本旅行復活の動き 3泊4日で3千元以下

5月中旬には、全国各地で日本観光ツアー復活の動きが相次いだ。上海春秋国際旅行社が18日発表したところによると、中国人観光客180人からなる団体ツアーが6月2日にチャーター機で上海を出発し、日本の関西地区の香川、大阪、神戸などを訪れるという。東日本大震災の後、中国から大規模な団体ツアーが日本を訪れるのはこれが初めてのケースだ。

(中略)

2カ月に及ぶ日本旅行の空白期を経て、上海の旅行会社数社も行動を開始した。前出の上海春秋国際旅行社が企画した6月2日出発のチャーター便によるツアーは、3泊4日で価格は2899元と非常に安く、申し込み開始から半日ほどで定員に達した。新たなツアーの企画も進められている。錦江旅行社も6月出発のツアーを企画し、上海国旅国際旅行社と上海中旅国際旅行社は7月にツアーを出したいと発表した。

中国人の日本観光ツアーが再開へ向けて動き出した。しかも、今までよりも格安な料金で、中国全土で売り出されている。記事にあるように、3泊4日で2980元など、今までよりも2000元近く安い価格だ。大連でも、大阪・富士山・箱根・東京のいわゆるゴールデンコースが3980元で、いままでより2000元ぐらい安く売られている。

飛行機代だけでもこれ以上で、どうしてこのような価格にできるのか？というところ、航空会社は中国⇄日本路線が、ガラガラで、格安でも席を埋めなければもたない状態で通常の卸値の半額ぐらいでチケットを売っているらしい。また、日本のインバウンドも、外国人客が激減し、値段を落としてでもお客を取らないと経営が苦しい状況に陥っているため、格安料金で提供しているだろう。

このような通常のシーズンオフ以下の状態が重なって、今までにない格安の日本旅行ツアーがつくられている。中国人観光客は、通常でも日本人より安い料金を宿泊施設が出しているのが常識だが、それをまたさらに安い料金にしても誘致しようとしている。

この努力が実るかどうかは、もう少し時間がたたないと結果は分からない。現在の反応は、まだ非常に冷たいもので、5月中旬から日本向けツアーを売り出したある旅行会社では、まだ人数が集まらず、ツアーが1件も成立してないという。また、震災前は一日30件ほどあった問い合わせが、まだ一日10件ほどしかなく多数の販売は見込めないと考えている旅行社もある。中国人の日本旅行への反応はまだまだ鈍い、安全・安心の問題は価格が安いことでは解消されないのだろう。

もしも、この安売り策が成功したとしても、通常料金に戻したときにどう転ぶかも分からない。一度下がった料金をまた値上げして販売することは、非常に難しいだろう、中国人は価格にはとても敏感だ。これから長期に渡って、中国人を相手にする日本の旅行業界は苦戦するように感じる。

しかし、西日本の観光地にとってはまたとないチャンスが訪れていることも事実だ。今までは、いくら旅行社にセールスをしても、大阪⇄東京のいわゆるゴールデンコースと北海道・沖縄にしか興味を示さなかった中国の旅行社が、九州や中国地方に興味を持ち出したからだ。実際の観光客誘致に繋がらない可能性もあるが、西日本の各地はPRできる絶好の機会を生かすべきだ。